

藻谷浩介さんと考える

参加費
無料

オンライン
参加可能
予約不要

会場
先着50名

参加登録が必要です。

人口減少社会において、 地域で安心して暮らしていくためにできること

第63回人権大会の第3分科会のシンポジウムのテーマは、人口減少社会を乗り越える地域再生の社会保障です。地域再生において、地域経済の再生・活性化は極めて重要な問題です。また、広域合併により地域が疲弊しており、その現状に対する対策も重要です。本プレシンポジウムでは、地域経済の再生とそれに関わる行政の在り方、最低賃金の問題や地域の社会福祉のあり方について、地域振興に詳しく『里山資本主義』の著者である藻谷浩介さんと考えていきます。

日時 **2021.8.28 (土) 13:30 ~ 15:30**

会場 TKP 札幌駅カンファレンスセンター (ZOOM ウェビナー併用) カンファレンスルーム 3B

札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴュオフィス札幌3階

札幌市営南北線 さっぽろ駅 16 出口 / 徒歩 1 分
JR 函館本線 札幌駅 北口 / 徒歩 2 分

PROGRAM

報告

- ・帯広・下川町調査について 弁護士 渡辺達生
- ・合併・圏域の法制化の問題点について 弁護士 菅澤紀生

藻谷浩介さんご講演

「人口減少社会において、地域で安心して暮らしていくためにできること」



もたに こうすけ
藻谷 浩介

撮影：青木優佳

日本の全ての市町村を訪問し、地域に熟知している藻谷さんに、当会の報告を踏まえ、「人口減少社会において、地域で安心して暮らしていくためにできること」を縦横無尽に語っていただきます。

現職 (株) 日本総合研究所 主席研究員・(株) 日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問
特定非営利活動法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク理事

略歴 山口県生まれの 57 歳。

平成合併前の全 3,200 市町村、海外 114 ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。

地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し研究・著作・講演を行う。2012 年より現職。

著書にデフレの正体、里山資本主義 (共に KADOKAWA)、世界まちがど地政学 Next (文芸春秋) など。

近著 (共著) に進化する里山資本主義 (Japan Times)、東京脱出論 (ブックマン社)。

パネルディスカッション

会場・WEB からの
質問タイムあります

藻谷さん、報告者の 3 人で、「人口減少社会において、地域で安心して暮らしていくためにできること」をより具体化するために、地域経済、社会保障、行政、最低賃金といった切り口で、その方策の議論を進めます。

当日、QR を読み込めば、
即簡単に参加可能！

会場参加



Google Form で、
事前登録が必要です。
定員になり次第締切りますので早めに、
登録をお願いします。

<https://forms.gle/47TDWhy8TxUvLUSH9>
-PDF でご覧の方は上記 URL をクリック-



Web 会議システム
「ZOOM」を利用します。
QR コードを読み込むか
下記の URL を入力すると
入室できます。

<https://us02web.zoom.us/j/82483516607>
-PDF でご覧の方は上記 URL をクリック-

オンライン参加

お問い合わせ



札幌弁護士会

お申し込み方法について
ご質問は下記までお願いします。

011-281-2428 (平日のみ)



pre-sympo@satsuben.or.jp

-PDF でご覧の方はメアドをクリック-

主催：札幌弁護士会

共催：日本弁護士連合会